

科目名	クリエイションテクニック I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	300	作成者	友廣麻紀

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるスカート、パンツ、ショールカラーのジャケット、ラグランスリーブのコート、テーラードジャケット部分縫いの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に必要な洋服の構造を理解することは不可欠である。企画を立てるにあたって必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	シャツパターン	76・77・78 商品企画作品1
3・4・5	シャツパターン	79・80 ラグランスリーブのコートの縫製
6・7	シャツトワール	81・82・83 商品企画作品1
8・9・10	シャツ縫製	84・85 ラグランスリーブのコートの縫製
11・12	SKパターン	86・87・88 商品企画作品1
13・14・15	シャツ縫製・完成	89・90 ラグランスリーブのコートの縫製
16・17	SKトワール	91・92・93 商品企画作品2
18・19・20	カットソー概論	94・95 ラグランスリーブのコートの縫製
21・22	パンツの製図、裁断	96・97・98 商品企画作品 2
23・24・25	カットソーパターン・縫製準備	99・100 ラグランスリーブのコートの縫製
26・27	パンツの縫製	101・102・103 商品企画作品2
28・29・30	カットソーパターン・縫製	104・105 ラグランスリーブのコートの縫製
31・32・33	SkorPT(各自)	106・107・108 商品企画作品3
34・35	SkorPT(各自)	109・110 ラグランスリーブのコートの縫製
36・37・38	デニム素材概論	111・112・113 商品企画作品3
39・40	ショールカラーのジャケットの製図(裏無し箱)	114・115 テーラードジャケットの裁断
41・42・43	デニム縫製	116・117・118 商品企画作品3
44・45	ショールカラーのジャケットの縫製	119・120 テーラードジャケットの裁断
46・47・48	デニム縫製	121・122・123 商品企画作品3
49・50	ショールカラーのジャケットの縫製	124・125 テーラードジャケットの縫製
51・52・53	デニム縫製	126・127・128 商品企画作品4
54・55	部分縫い 薄物始末	129・130 テーラードジャケットの縫製
56・57・58	デニム縫製	131・132・133 商品企画作品4
59・60	部分縫い 薄物始末	134・135 テーラードジャケットの縫製
61・62・63	デニム縫製	136・137・138 商品企画作品4
64・65	部分縫い 箱ポケット(アウター)	139・140 テーラードジャケットの縫製
66・67・68	デニム縫製	141・142・143 商品企画作品4
69・70	部分縫い 雨蓋ポケット	144・145 テーラードジャケットの縫製
71・72・73	デニム縫製	146・147・148 まとめ
74・75	まとめ	149・150 まとめ

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守)

指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

『スカート』『パンツ』『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版

・教員作成のオリジナルプリント『ラグランスリーブのコート』

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式

科目名	クリエイションデザイン論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	120	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

商品をコレクションで企画出来る。

【科目の概要】

商品を分析し、企画提案が出来る。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	2	プレタシャツ企画	31 32 校外学習 プレタに向けてリサーチ①
3	4	デザインの指向と服の研究方法について	33 34 校外学習 プレタに向けてリサーチ②
5	6	YKKファスニングアワード①	35 36 2026SSトレンド分析① トrendキーワード
7	8	YKKファスニングアワード②	37 38 2026SSトレンド分析② ランウェイ注目アイテム
9	10	YKKファスニングアワード③	39 40 2026SSトレンド分析③ カラー、素材、ディテール
11	12	WWDセミナー	41 42 プレタ1 ブランドテーマを作る
13	14	FFP① グループディスカッション	43 44 プレタ2 シーズンテーマを作る
15	16	FFP② テーマについて	45 46 プレタ3 デザイン画を考える
17	18	FFP③ デザインについて	47 48 プレタ4 プレゼン資料作成
19	20	FFP④ 仕上げ提出	49 50 プレタ5 プレゼン資料作成 プレゼン
21	22	G-FRANCO① デニムについて	51 52 企業アパレルについて①
23	24	G-FRANCO② デザインについて	53 54 企業アパレルについて②
25	26	G-FRANCO③ 仕上げ	55 56 プレタ企画
27	28	G-FRANCO提出	57 58 プレタ企画
29	30	テスト	59 60 テスト

【成績評価方法】

課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

【教科書・参考書】

『Portfolio』文化出版 吉田康成 『ファッションデザインベーシック』BNN Richard Sorger & Jenny Udale 『ファッションデザインアーカイブ』株グラフィック社 高村是州 『ファッションデザインアイデアノート』グラフィック社 渡辺 直樹 ファッション週刊誌WWDジャパン『Fashion Design Resource』PNN新社 Robert Leach

【教材・教具】

配布プリント 筆記用具 ハンガーイラストが描ける用具 電卓 画材

科目名	クリエイションパターン I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	友廣麻紀

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1	台襟付きシャツ・構造	31.32	パターンメイキング概論
2	台襟付きシャツ・仕様書		身頃の展開カット無し+1枚袖 半身トワール組み
3	スラックス原型・パンツスローパー	33.34	身頃の展開カット有り+1枚袖 半身トワール組み
4	スリムパンツ・ハイウエストパンツなど	35.36	レディスブラウス
5	脇ポケット作成	37.38	トワール組、工業パターン作成
6	自分サイズのスラックスパターン作成	39.40	ジャケット原型・テーラードジャケット・一枚袖
7・8	自分サイズのスラックスパターン作成	41	二枚袖・一枚袖⇒二枚袖
9・10	プレタシャツ作成	42	トワール組み立て準備
11	プレタシャツ作成	43	ジャケット原型・テーラードジャケット・一枚袖
12	プレタシャツ作成	44	二枚袖・一枚袖⇒二枚袖
13	デニムパターン	45	トワール組み立て準備
14	デニムパターン	46	トワール組
15	デニムパターン	47	工業用パターン作成
16	デニムパターン	48	工業パターン作成（見返し、表襟展開）
17	襟のバリエーション シャツ・台襟シャツ	49	テーラードジャケット（ドレーピング）
18	襟のバリエーション ステン・リビア	50	トワール組み
19	Tシャツ	51	テーラード(マニプレ)ジャケット（ドレーピング）
20・21	カットソーデザイン	52	トワール組み
22	ビスチェ 製図、パーツパターン組み立て	53	テーラード(ショールカラー)ジャケット(ドレーピング)
23・24	ドレーピング スカート	54	トワール組み
25	マチ3種	55	創作テーラードジャケット テスト
26	マチ3種	56	デザイン・トワール組
27	パーツパターン抜出テスト	57	トワール組
28	パーツパターン抜出テスト	58	トワール組
29	提出	59	提出
30	まとめ	60	まとめ

【成績評価方法】

課題の評価60%
 期末試験の評価30%
 授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

配布プリント

【教材・教具】

製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
 トワール、シルクピン、ミシン用具

科目名	クリエイションドローイングI	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	松岡葵

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 ヌードボディの表現①（基本的表現）
- 2 ヌードボディの表現②（コレクション的表現）
- 3 顔、ヘアスタイル表現
- 4 着装表現①（女性的ディテール表現）
- 5 着装表現②（男性的ディテール表現）
- 6 着装表現③（装飾、小物、複雑なデザイン表現）
- 7 着色表現①（その他応用表現）
- 8 着色表現②（その他応用表現）
- 9 着色表現③（その他応用表現）
- 10 アイテム画表現
- 11 デザイン画選手権の作品制作（ラフ）
- 12 デザイン画選手権の作品制作（下絵）
- 13 デザイン画選手権の作品制作（着色）
- 14 デザイン画選手権の作品制作（着色）
- 15 前期末テスト

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィ

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義100 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【授業概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 布地まとめ
- 7 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 8 天然繊維(動物繊維)
- 9 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 10 化学繊維(合成繊維)
- 11 ■素材の機能性
- 12 ■生地加工 染色・プリント・仕上げ
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10%、理解力50%(小テスト10%、総合テスト40%)、提出物40%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年
- ・『生地的事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90% 実習 10%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

90分/コマ	後期
1	ガイダンス 【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化
2	古代ローマ～中世
3	ルネサンスと衣服
4	エリザベス1世の誕生 服飾トレンドの認知
5	マリーアントワネット：革命と失脚
6	19世紀ナポレオンとドレススタイルの変化
7	復習・まとめ
8	オートクチュールの誕生 ベルエポックとレ・ザネ・フィル
9	世界恐慌とファッションの復興
10	19～20世紀 フランス：オートクチュールからプレタポルテ
11	19～20世紀 イタリア：GUCCIとハイブランドの変遷
12	19～20世紀 ロンドン：パンクムーブメント
13	19～20世紀 アメリカ：ヴィンテージファッションの特徴と判別
14	20世紀 日本国内のトレンド：DCブランド～KAWAIIカルチャー
15	総復習 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教科書「西洋服飾史」

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使し実習で制作した作品のポートフォリオが作成できる。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。情報収集・分析から役立つものを見つけ価値を明確にし、その狙いや技術的な詳細などに触れながら、デザイン制作では気づかなかった感情・ノウハウを解き明かす。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	PC演習・ポートフォリオ概論		31・32 コラボ作品ポートフォリオ①
2	illustrator基礎		33・34 コラボ作品ポートフォリオ②
3・4	プレタコンセプト・パンフレット構成		35・36 コラボ作品ポートフォリオ③
5・6	撮影準備		37・38 コラボ作品ポートフォリオ完成
7・8	プレタシャツ写真撮影		39・40 プレタプレゼン資料作成①
9・10	プレタシャツハンイラ①		41・42 プレタプレゼン資料作成②
11・12	プレタシャツハンイラ②		43・44 プレタプレゼン資料作成③
13・14	プレタシャツハンイラ③		45・46 プレタプレゼン資料完成
15・16	プレタシャツポートフォリオ制作①		47・48 企業ハンイラ練習①
17・18	プレタシャツポートフォリオ制作②		49・50 企業ハンイラ練習②
19・20	プレタシャツポートフォリオ制作③		51・52 企業仕様書作成
21・22	プレタシャツポートフォリオ完成		53・54 企業研究①
23・24	パンツポートフォリオ制作①		55・56 企業研究②
25・26	パンツポートフォリオ制作②		57・58 企業研究③
27・28	デニムまとめ①		59・60 企業研究発表 テスト
29・30	デニムまとめ① テスト		

【成績評価方法】

課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

ギャヴィン・アンブローズ+ポール・ハリス『フォーマット』『レイアウト』
『ポートフォリオ・クリエイション』『クリエイターをめざす人のための、人の心を動かす三ツ星ポートフォリオの企画「虎の巻」』

【教材・教具】

パソコン USBメモリー WWD

科目名	ファッションビジネス論 II	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100%
時間数	60	作成者	秦野 知邦

【科目の到達目標】
 ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。
 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。
 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。

【科目の概要】
 ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える。アパレル業界のしくみの本質を理解し、今の時代にあったビジネス感を養う。
 最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。

【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1・2	ファッションの魅力とファッションビジネスの現状についての講義 即戦力⇒企業が求める人材とは		16・17 ショップリサーチ資料に基づくプレゼンテーションを実施 オリジナルな提案を踏まえた資料をパッションをもって伝える
3・4	変わりつつある世界のコレクションとプロモーションについての講義 See now buy now・ファーフリー宣言についてなど		18・19 ファッションビジネストレンドについての講義 第4次産業革命とファッションについてなど
5・6	グローバルSPAブランドとラグジュアリーブランドビジネスを比較する LVMH・ケリングとZARA・H&Mについてなど		20・21 ファッションビジネストレンドについての講義 SNSなどのプロモーションとファッションビジネスについてなど
7・8	セレクト系SPAとメーカー系SPAを比較する 商社の役割と力について		22・23 これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義 世界のクリエイティブディレクターの世界観から考える
9・10	就活用のショップリサーチ資料を作成する ショップリサーチのチェックポイントについて		24・25 ファッションビジネストレンドの展望と課題についての講義 南青山・表参道・銀座の市場動向から考える
11・12	就活用のショップリサーチ資料を作成するためのリサーチを実施する リアル店舗で今を感じる→新たな発見・気づき		26・27 即戦力として知っておきたい計数についての講義 損益分岐点など
13・14	就活用のショップリサーチ資料を基にグループミーティング ショップリサーチの資料作成のポイントについて		28・29 まとめと取引と取引条件についての講義 バイヤーの仕事内容と資質についてなど
15	まとめ		30 期末テスト 筆記試験

【成績評価方法】
 ・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 20% ・ 期末試験 40%

【教科書・参考書】
 日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント

【教材・教具】
 ノート ・ 筆記用具

科目名	染色	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターマスターズコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	28	作成者	長田 綾美

【科目の到達目標】

染色技法基礎の修得。デザインの感性を高め作業を計画的に進めて行く能力を養う。

染料と繊維の関係を学ぶ。

色彩感覚を養い染色のおもしろさを知る。

【科目の概要】

アナログ的な手作りを基本とした制作実習。シルクスクリーン、絞り染め、ステンシルなどの技法を使ってTシャツ、トートバッグ、ハンカチ、革素材、生地素材などを染めながら染色技法を修得していきます。

【授業計画】 90分/コマ

1・2 染色概論 染色器材、備品の説明。

3・4 絞り染め。 縄などで縛り浸染め。 参考書から色々な縛り方の方法を修得。

5・6 絞り染め。 絞り方の変化によるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。

7・8 シルクスクリーン。 繊細なデザイン原稿を制作し、革、布の素材を創造する。

9・10 シルクスクリーン。 繊細なデザイン原稿を制作し、革、布の素材を創造する。

11・12 ステンシル。 ペーパーワークで描いた下絵がステンシルの特徴を表現出来るかどうかの考察。

13・14 ステンシル。 カッティングの持つチャープな動きの表現方法。

【成績評価方法】

提出課題の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『染色の基礎知識』 染織と生活社発行

【教材・教具】

各種染料。 刷毛、筆、伸子、張り木、ステンレスタンク、蒸し器等の染色用具。
ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器